

食道、胃、十二指腸内視鏡（胃カメラ）検査についての説明・同意書

この説明書を事前によくお読みいただき、内容をご確認のうえ、必要事項のご記入とご署名欄に署名をお願いします。当院では日本消化器内視鏡学会専門医が責任をもって検査にあたります。ご不明な点がありましたら遠慮なくご質問ください。

1. 検査の目的

胃カメラは、直接、食道・胃・十二指腸（上部消化管）の中を観察し、炎症、潰瘍、癌などの病気を見つけるために行います。レントゲンによる胃透視検査に比べて、小さな病変を発見しやすく（早期癌など）、生検（病変の一部3mm程度を採取）で病理学的な診断が可能です。

2. 検査の方法

当院では、内視鏡を口から挿入する経口内視鏡と、鼻から挿入する経鼻内視鏡のいずれかの選択が可能です。国立がんセンターのアンケート調査では、経鼻内視鏡を受けられた90%の患者さんが「楽であった」、8%が「経口と変わらない」、2%が「苦しかった」と回答しています。一方で鼻腔（びくう）の広さには個人差があり、実際には経鼻内視鏡でも無痛になるわけではなく、内視鏡が通らずに経口内視鏡に変更する場合があります。経口内視鏡で過去につらい思いをした方、初めて経口内視鏡検査を受ける方は鎮静剤（静脈投与し、一時的に眠った状態にする薬）を使用することも可能です。過去に歯医者などでうけた麻酔薬のアレルギーがある方は申し出てください。のどの麻酔を使用せずに鎮静剤とゼリーのみで楽に検査を受けることが可能です。また、当院では偶発症の観点から消化管の蠕動を抑える薬（鎮痙薬）は使用しません。

【経口内視鏡の場合】

- (1)胃の中の泡や粘液を洗浄する薬を飲んでいただきます。鎮静剤を希望の場合は点滴の管を留置します。
- (2)のどの麻酔のためのアイスシャーベットを舐めてもらいます。
- (3)左横向きに寝ていただき、マウスピースを軽くくわえたあとに内視鏡を挿入します。3,4分程度の検査です。
- (4)鎮静剤を使用した場合は1時間ほど休んでいただきます。使用しない場合はすぐに医師の説明を受けて帰宅することができます。



【経鼻内視鏡の場合】

- (1)胃の中の泡や粘液を洗浄する薬を飲んでいただきます。鎮静剤は使用しません。
- (2)のどの麻酔のためのアイスシャーベットを舐めてもらいます。
- (2)両側の鼻に血管収縮剤を浸透させ両方の鼻の穴にゼリー状の麻酔薬を注入します。
- (3)仰向けに寝ていただき、細いチューブを通りのいいほうの鼻の穴に通します。
- (4)左横向きになり、細いチューブを抜去してから内視鏡を鼻から挿入します。3,4分程度の検査です。
- (6)検査後すぐに医師の説明を受けて帰宅することができます。



いずれの方法の場合でも病変を認める場合は、良性か悪性かを判断するために色素を散布したり生検を行います。

3. 新型コロナウイルス感染リスクについて

内視鏡検査では、エアロゾルが発生する場合があります、周囲への感染リスクがあります。

- 1) 新型コロナウイルスへの感染状態に関する問診や体温測定の結果次第では延期あるいは中止になる可能性があります。
- 2) 内視鏡検査に際しての感染対策は万全を期しているものの、内視鏡検査室や待合室にいる間にウイルスに暴露する可能性があります。

4. 検査当日の注意事項

検査当日の朝は絶食で来院してください。水・スポーツ飲料・お茶は構いません。

血圧・喘息・心臓のお薬は、検査当日朝服用してください。

※糖尿病で治療中の場合、糖尿病のお薬は服用しないでください。インシュリンの自己注射はしないでください。

5. 偶発性について

【検査の合併症】

(1)上部消化管内視鏡全体の重篤な合併症：0.005%(約2万人に1名)、2010年全国調査による。

出血：生検をした場合、通常は自然に止血しますが、止血が不十分なときは、内視鏡的に止血処置をする場合があります、入院が必要となることもあります。

穿孔：のどの奥、食道と胃のつなぎ目や十二指腸など、やや狭いところなどでは内視鏡で傷をつけてしまうことがあります。このような損傷で消化管に穴が開くことがあり、緊急手術が必要になることもあります。

(2)検査前に使う薬剤による副作用：薬によるアレルギー反応でショックをおこすことがあります(0.0037%)。

(3)そのほか、検査後の腹部膨満感、吐き気、空嘔吐、めまいなどの比較的軽微な偶発症が起こり得ます。これらは検査後の休憩により自然に改善するものがほとんどですが、持続する場合には必要に応じて点滴などの対応を取ります。休憩中は状態を観察いたします。



☆ 検査後の注意

(1)飲水・食事は、検査終了1時間後よりとって下さい。生検された方は、飲酒や刺激物を1～2日は避けて下さい。

病変を認めた方には個別に指示致します。

(2)鎮静剤を使用した方は、**検査後に1時間ほど休んでいただく必要があります、さらに当日の車・バイク等の運転はできません。**また、鎮静剤により注射時に血管痛、まれに血管炎をおこすことがあります。

(3)義歯のある方は安全のために検査の前にはずしていただいています。ぐらついている歯はまれに取れることがありますので、あらかじめお申し出下さい。

(4)締め付けのきつい下着類（コルセット・腹巻など）は身に着けないでください。

《質問記入欄》

上記の内容について説明を理解した上で

経口内視鏡検査を希望する。

経鼻内視鏡検査を希望する。

※経口内視鏡をご希望の方のみ下記にチェックを入れてください。

鎮静剤を希望する。

鎮静剤を希望しない。

上部消化管内視鏡（胃内視鏡）検査についての説明を十分理解した上で検査に同意します。

令和 年 月 日 氏名 _____

緊急連絡先 氏名： _____

続柄（ ）連絡先： _____

年 月 日
説明者 _____

検査後 腹痛、嘔吐、吐血、下血（黒色便）など何か異常があれば直ちにご連絡ください。

小池病院 TEL：076-263-5521